

地域情報をいきいきと

公益社団法人米沢有為会会長
(元国立国会図書館長、元東京農業大学教授)

大滝 則忠



周年を迎えています。明治以来の活

動を担ってきた先人の身近に、常に創刊140年の米澤新聞があつた歴史の重みを感じる感慨も一入です。帰省して、米沢駅頭の売店で真っ先に米澤新聞を買いたい求むことは、私にとつても長年の習慣です。社会の公器として身近な地域情報を生き活きと伝える地元新聞の存在は極めて重要です。ネット上の情報流通に頼る社会になつても依然として、紙上の文字情報の迫力を格別感じる人々の期待が大きいと思えます。同時に、それら紙上の情報等を地域資料として集め保存し、後世に伝えて利用できるようにする地元の公立図書館の活動も重要です。地域情報の発信装置(新聞)と蓄積伝達装置(図書館)は、共に地域社会が兼ね備えるべき不可欠な社会的装置です。米澤新聞の筆運のますますのご隆盛をお祈りいたします。

(1867(慶応3)年—1954(昭和29)年)ら。同年11月に東京都内の本郷に集い「幅広い郷里関係者の団体を」と発足させたのが始まり。先駆者は米沢市の名譽市民で建築士の伊東忠太工学博士(1867(慶応3)—1954(昭和29)年)ら。創立130周年活動ビジョンとして「グローバル社会で躍動する置賜の未来への貢献」と定め、未来を担う置賜若人の夢を育英活動で支援、置賜の教育・文化・産業等の振興に貢献を打ち出し、記念式典・記念講演会・祝賀会は6月22日(土)に米沢市内で開催することを決めている。



昨年新しく開催された高校生小論文コンテスト

地元密着の公器、たれ

【公社】米沢有為会は、1889(明治22)年に創立され、ことし創立130周年の節目を迎えた。米沢市が南置賜郡より分離し「市制」をしいた同じ年に有為会が誕生した。創立に携わつたのは名譽市民で当時工学博士の伊東忠太

国の形を模索していたころです。大日本帝国憲法の発布が1889年、第一回の帝国議会の成立が1890年。これらにより国の形が臚気ながら見え始めたと考ええると、それに10年以上先立つて新たな近代日本の国づくりに資するべく米沢に初めて新聞が創刊されたことに米沢先人の気概を感じさせて頂きます。これは五か条のご誓

米澤新聞

先人の志を未来に繋げ

帝人株式会社
代表取締役社長執行役員CEO

鈴木 純



米澤新聞 140周年 おめでとう ございます。 創刊され た1879 年は明治12年、長い鎖国と武士階級の支配という時代が明け、日本が新たな



帝人創立100周年記念式典が行われた御成山

文の「広く 会議を興し、 万機公論に決すべし」の正に「公論」の育成を担われたのではないのでしょうか。 昨年は帝人株式会社が100周年を迎え、米沢でも市民の皆様にご協力いただき記念イベントを行わせていただきました。弊社も100年の間には幾つもの危機を経験、乗り越えることで今日を迎えました。米澤新聞様が明治の新聞弾圧、昭和の言論統制、幾度かの廃刊からの復活を繰り返して140年という長い年月を刻んでこられたことにご尊敬を申し上げます。米澤新聞様がいろいろな教育事業、イベントなどを通じ、地元と共に歩んでおられると伺っており、更に先人の志を受継いで未来に歩みを進められることを祈っております。

【帝人株式会社】 社は1918(大正7)年に日本初のレーンメーカーとして米沢市館山地区(現米沢三中)で発足・創立した。昨年6月めでたく創立100周年を迎え、9月に米沢市の伝国の杜と御成山の碑前で記念の式典や行事を行った。旧米沢高等工業学校(現・山形大学工学部)の講師として赴任した泰逸三(1880(明治13)年—1944(昭和19)年)が、日本で初めてのレーヨン開発に成功させてのスタート。 創立100周年の節目を祝うイベントは昨年9月29日に伝国の杜で29企画展示「未来せんいアワード(テキスト・イル・製品・絵画)」、表彰式米沢市民ミュージカル「伝国座」による劇の上演、有機エレクトロニクスと関連する部門で大活躍されている山形大学工学部の城戸淳二教授の記念講演、子供向けワークショップなどで1への約束を實踐し、「未来の社会を支える会社」になることを目指している。